

ミニレター
あぜみち通信

* * * * *

平成30年5月1日

第209号

編集・発行：(一社)愛知県農業会議

◎ **平成30年春の叙勲で農業会議関係者が受章されました**

平成30年春の叙勲で、山本善博氏（半田市）が旭日単光章の栄に浴されました。

山本善博氏は、半田市農業委員会会長、愛知県稲作経営者会議会長などの要職を務められ、愛知県農業の振興に貢献されました。その功績に改めて敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

◎ **常設審議委員会（4月）の審議状況について**

4月10日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法に係る農業委員会からの諮問等に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

会議開催に先立ち、今後諮問が予定される愛知県農林水産部及び建設部の関係職員も出席し、それぞれ紹介を行いました。

4月の諮問は、農地法第5条に基づく転用事案20件、172,501㎡であり、審議の結果、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

◎ **平成30年度全国情報会議が開催されました**

4月12日に東京都文京区の「椿山荘」において、(一社)全国農業会議所主催による平成30年度全国情報会議が開催されました。

二田全国農業会議所会長による主催者挨拶の後、第24回「農業委員会だより」全国コンクール入賞農業委員会表彰が行われ、愛知県からは日進市農業委員会が表彰を受けました。

全国農業新聞情報活動功労者表彰を始めとする各表彰の後、協議に入り、「平成30年度情報事業計画」及び「農地利用の最適化を進める情報提供活動のあり方」について説明があり、いずれも承認されました。

最後に「ビジネスとして魅力ある農産業の確立」をテーマに、株式会社農業総合研究所の及川智正代表取締役社長の記念講演が行われました。

◎ 農の雇用事業新任担当者向け研修会が開催されました

4月17日に東京都千代田区の「麹町共同ビル」において、全国農業会議所主催による農の雇用事業新任担当者向け研修会が開催されました。

この事業は、農業分野での雇用を創出し、新規就農者の確保・育成を図るため、農業法人等が就農希望者を正規社員として雇用し、農業技術等を習得させるための実践的な研修（OJT）を実施する場合に経費を補助する事業です。

平成30年度については、過去5年間の研修生の定着率が3分の1以上から2分の1以上に引き上げられた一方で、日本農業技術検定等の受講が必須から努力目標に変わるなど要件が変更されました。

詳しくは、愛知県農業会議農政課にお問い合わせください。

◎ 農業委員会職員等新任者研修会を開催しました

4月18日に「愛知県三の丸庁舎」において、愛知県農業委員会事務研究会（鈴木孝昌会長（豊橋市農業委員会事務局長））と（一社）愛知県農業会議の共催により、農業委員会職員等新任者研修会を開催し、80余名が参加しました。

内容は、農業委員会法の概要と農業委員会の運営、農地中間管理事業推進法の概要、農地法の概要、農地転用許可の概要及び農業経営基盤強化促進法の概要であり、農業会議、農地中間管理機構（（公財）愛知県農業振興基金）及び県農業振興課の職員が講師となりました。

◎ 愛知県農業生産振興協議会が開催されました

4月18日に名古屋市中区の「JAあいちビル」において、愛知県農業生産振興協議会が開催されました。

この協議会は、新たな品目の産地化を目指して、平成24年度から生産現場に密着した課題を取り上げて活動しており、例えば、平成29年度に終了した課題は、「愛知123号「特A」推進」です。

田中会長（JAあいち経済連常務）及び鈴木県農林水産部技監の挨拶に続いて協議会に入りました。

提出議案は、平成29年度愛知県農業生産振興支援活動報告、平成30年度愛知県農業生産振興支援活動計画等の四つであり、いずれも承認されました。

◎ 愛知県農業再生協議会の通常総会が開催されました

4月23日に名古屋市中区の「JAあいちビル」において、愛知県農業再生協議会の平成30年度通常総会が開催されました。

高橋愛知県農業再生協議会会長（県農林水産部長）の挨拶等が続いて協議に入りました。

議題として、平成29年度事業報告及び収支決算、平成30年度事業計画及び収支予算、規約等の改正及び役員を選任の議案が提案され、全て原案どおり承認されました。

平成30年産以降、国からの米の生産数量目標の配分は廃止され、需要に応じた米生産を進めるため、この協議会が生産数量目標の目安の配分主体となっており、議題終了後に県内の地域ごとの作付動向等について説明がありました。

◎ 全国農業委員会都市農政対策協議会主任者会議が開催されました

4月23日に東京都千代田区の「主婦会館プラザエフ」において、全国農業委員会都市農政対策協議会主催による主任者会議が開催されました。

協議に先立ち、農林水産省都市農業室の西係長による講演がありました。

内容は、国会に上程されている都市農地の貸借の円滑化に関する法律案であり、生産緑地地区内の農地の貸借を円滑にするため、自らの耕作の事業に供するために生産緑地地区内の農地を借り受けようとする者は、事業計画を作成し、農業委員会の決定を経て市町村長の認定を受ければ農地法第3条第1項（権利移動の制限）や第17条（法定更新）の規定の適用が除外されることなどについて説明がありました。

講演後、平成30年度通常総会提出議案として、平成29年度事業報告及び収支決算、平成30年度事業計画、収支予算等について協議を行ったほか、「特定生産緑地制度」の創設による固定資産税の農地課税、相続税納税猶与等の動向、今後の周知活動等について協議しました。

◎ 農地中間管理事業説明会及び推進研修会が開催されました

4月24日に名古屋市中区の「JAあいちビル西館」において、（公財）愛知県農業振興基金（農地中間管理機構）主催による事業説明会及び推進研修会が開催されました。

可知理事長からは、平成29年度は農地の集積面積が過去最高の717haとなり、今後は農地の現状把握や農業委員会、担い手との本格的な連携により一層の推進を図りたいとの挨拶がありました。

農地中間管理事業の業務内容と事務処理について説明がなされた後、岩橋農地集積推進部長から名古屋市南陽地区など7地域の特色ある取組事例が紹介されました。

◎ 愛知県農業経営士協会、愛知県青年農業士連絡協議会の通常総会が開催されました

4月24日に岡崎市の県立農業大学校において、愛知県農業経営士協会の平成30年度通常総会及び愛知県青年農業士連絡協議会の平成30年度通常総会がそれぞれ開催されました。

愛知県農業経営士協会の総会では、提出議案は全て原案どおり承認され、役員改選では、会長に神谷豊秋氏(西三河)、副会長に大岩辰男氏(知多)と水谷一江氏(東三河)、会計に小塚繁広氏(名古屋)を選任しました。また、議事終了後、定年退会者57名に感謝状の授与がありました。

一方、愛知県青年農業士連絡協議会の総会も提出議案は全て原案どおり承認され、役員改選では、会長に柘植保希氏(豊田加茂)、副会長に竹澤賢氏(東三河)、会計に花井慎吾氏(知多)を選任しました。

なお、総会の前に、農業大学校、農業経営士協会及び青年農業士連絡協議会の共催により、医療法人参方善さくら会の黒瀬基尋理事長を講師として、「人材を育てて魅了する理念経営の秘訣」と題した研修会が行われました。

訃報

4月4日、愛知県町村会会長で本会議の副会長を務めておられた大須賀一誠様(幸田町長)が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◎ 今後の主な行事予定

- 5月 8日 常設審議委員会(三の丸庁舎)
- 5月15日 都道府県農業会議会長会議他(東京都・主婦会館プラザエフ)
- 5月15日 豊田市農業委員会農業委員推進委員合同研修会(豊田市役所)
- 5月22日 県農村生活アドバイザー協会20周年記念事業(キャッスルプラザ)
- 5月24日 監査会(三の丸庁舎)
- 5月30日 全国農業委員会会長大会・現地研修(～31日)(東京都・文京シビックホール、中央卸売市場大田市場他)
- 6月 8日 常設審議委員会・理事会(三の丸庁舎)
- 6月14日 農業委員会会長・事務局長会議(アイリス愛知)
- 6月27日 通常総会・理事会、研修会(三の丸庁舎)
- 7月 5日 全国稲作経営者現地研究会 in 情熱あいち(名古屋東急ホテル)